

1 の問題の解き方

問題文から、㉠、㉡の
できごとが、資料Ⅱのa～d
の期間のどこにあてはまる
かを明らかにしなければなら
ないことをつかみます。

「変化」という言葉が
キーワードです。「変化」
には原因があります。政治、
経済、文化などの面から、
「変化」の原因を考えるこ
とが大切です。

資料Ⅱの鉄道営業線のグ
ラフの「変化」を分析しま
す。そのとき、「変化」を、
「全体」と「部分」とに分
けて見るようにします。
「全体」としては、鉄道
営業線のグラフは、a～d
全ての期間で伸びています。
「部分」としては、bの期
間と、dの期間の「変化」
がa、cに比べて著しく伸
びていることがわかります。

問題文の㉠、㉡はいずれ
も戦争と産業発展の関係を
述べていることをつかみま
す。

↓
＜資料Ⅱ＞のグラフ中で、
㉠の軽工業、㉡の重工業が
それぞれ発展した時期につ
いて考えます。

日本は19世紀後半から
軽工業が、20世紀初頭から
重工業がそれぞれ発展して
います。

↓
bの期間に日清戦争が、
dの期間に第一次世界大戦
がおこっています。これら
のことから㉠がb、㉡がd
とわかります。

未来への架け橋

福岡県立高校入試問題を活用した授業改善・学習資料〔社会〕①

本資料の活用の仕方
各問題について、次の **A B C** のいずれかの内容を解説しています。

A 基本的な知識
B 資料等の読み取り方
C 基本的な考え方

2 の問題の解き方

問題文から、会話文中の
㉠～㉣の空欄を補い、会話
文を完成させなければなら
ないことをつかみます。

＜資料＞の衆議院議員総
選挙の有権者数が、㉠、㉡
の時期に、大幅に増加して
いることがわかります。

↓
会話文中の㉠、㉡は、有
権者の資格について述べら
れていることをつかみます。

＜資料＞中の有権者数の
大幅な増加には、影響を与
えた歴史的な事象があり、そ
の要因として選挙法の改革
があったことと結び付けま
す。

㉠が㉠で25歳以上の男
子、㉡が㉡で20歳以上の男
女とわかります。

㉣は、会話文中に「日本
国憲法が制定」「それ以前
と比べて」とあることから、
大日本帝国憲法との違いを
見いだすことが必要とわか
ります。また、問題文中に
指定された語句から「主
権」に着目する必要がある
とわかります。

「主権」が国民に移れば、
国民の意思を政治に反映さ
せやすくなります。

問題文中の指定された語
句に「意思」とあることか
ら、国民の意思を政治に反
映させやすくなったことを
記述すればよいとわかりま
す。

1 資料の変化を読み取り、変化に影響を与えた歴史的な事象を関連付ける力を見る問題

明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業〔端島炭坑〕

※写真 (端島炭坑)

端島は、島全体が岸壁で囲まれ、高層の鉄筋コンクリートの建物が建ち並ぶ様子から軍艦島と呼ばれる。

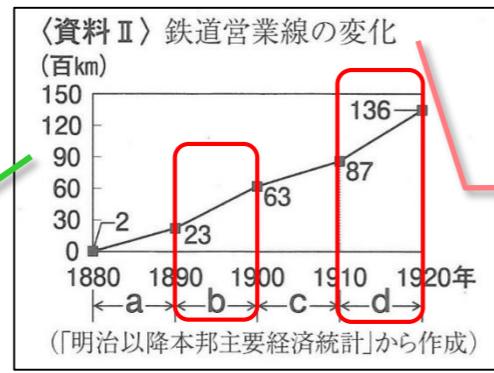
- 端島炭坑は、力の年に石炭の生産が本格的に始まり、製鉄の原料や
- ③ 鉄道の燃料などに使用され、わが国の近代における工業化を支えた。
- ④ 高度経済成長のなか、端島の人口が増加し、島が栄えた。
- キの年に端島炭坑での石炭の生産が終了した。

問5 下線部③について、資料Ⅱは、わが国の鉄道営業線の
変化を示している。下の□内の㉠、㉡が示すできごとが
あてはまる期間を、資料Ⅱのa～dから一つずつ選び、記号で答えよ。

① 中国との戦争の後、軽工業の発展による産業革命を成し遂げた。
② おもにヨーロッパが戦場となった戦争が起こり、重工業が発展した。

→ 日清戦争 → 第一次世界大戦

b、dの期間で鉄道営業線の伸びが大きいのは、なぜだろう？



交通の発達には戦争や
産業の発展と関連してい
ます。19世紀後半から
わが国では産業革命が発
展しました。＜資料Ⅱ＞
は、交通と産業との関連
を具体的に示したもので
す。

Point：産業革命と国民生活の変化を理解するには！
我が国の産業革命と国民生活の変化については、「原因」と「結果」の関係で関連付けることが大切です。その際には、「時期」に着目し、我が国の近代化に向けた動きを大観することが大切です。

2 資料の変化を基に、特定した歴史的な事象が社会に与えた影響を説明する力を見る問題



優樹：2017年の第48回は、70年ぶりに選挙権年齢が引き下げられて初の衆議院議員総選挙だったね。1890年の第1回総選挙のときの有権者の資格は、直接国税を15円以上納める〔㉠〕に限られていたね。
明子：そうね。その後、第16回るとき、有権者数が大きく増えているけれど、それは、普通選挙法がつけられ、普通選挙制が実施されたからだね。
優樹：また、第22回るときも有権者数が大きく増えているけれど、このときは、写真からも、有権者の資格が〔㉡〕になったことがわかるね。
明子：選挙権が拡大したことは、私たちにあって、意味のあることだったんだね。それに加えて、日本国憲法が制定されたことで、それ以前と比べて〔㉣〕といえるね。

※写真 (女性の投票風景)

問1 会話文の〔㉠〕、〔㉡〕にあてはまる内容を書け。
問3 会話文の〔㉣〕にあてはまる内容を、「主権」と「意思」の語句を使って書け。

主な選挙法の制定・改正時期	選挙人の条件等		
	直接国税	年齢	性別
明治	15円以上	25歳以上	男
大正 ①	なし	25歳以上	男
昭和 ②	なし	20歳以上	男女

大日本帝国憲法	項目	日本国憲法
国家の元首	天皇	日本国・日本国民統合の象徴
	天皇	主権者 国民
法律で制限できる臣民としての権利	国民の権利	永久不可侵の基本的な人権

Point：我が国の民主化に向けた動きを理解するには！
国民の政治的自覚の高まりと平行して、選挙制度が「いつ」「何が」「どのように」変化したのかを、上の表のようにまとめるなどし、それぞれを比較し共通点や差異点から歴史的意義を考察することが大切です。

3 の問題の解き方

問題文から、アメリカの農業の特色について「農業従事者一人あたり」の観点から説明しなければならないことをつかみます。

<写真Ⅰ>の解説に「大型の機械を利用」とあり、<写真Ⅱ>の解説に「広大な農地」といった記述があることがわかります。

アメリカの農業は、広大な土地を、大型機械を使って耕作するという特色があります。

写真Ⅰ、Ⅱの解説から、「大型の機械を使って、広大な土地を耕作している」内容を抜き出して記述すればよいとわかります。

問題文中に「農業従事者一人あたり」とあることから、基準を農業従事者一人あたりの「耕地面積」と「穀物生産量」を求めるとわかります。

アメリカの「農業従事者数」は、日本の約2倍程度ですが、「耕地面積」「穀物生産量」は約40倍であることがわかります。

このことから、アメリカの方が、「農業従事者一人あたり」の「耕地面積」が広いこと、「農業従事者一人あたり」の「穀物生産量」が多いとわかります。

未来への架け橋

福岡県立高校入試問題を活用した授業改善・学習資料〔社会〕②

本資料の活用の仕方

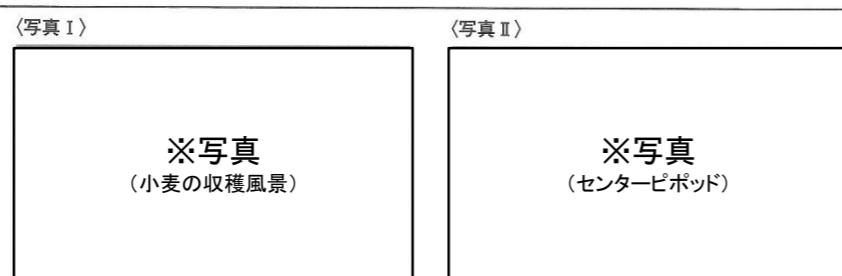
各問題について、次の **A** **B** **C** のいずれかの内容を解説しています。

- A** 基本的な知識
- B** 資料等の読み取り方
- C** 基本的な考え方

3 複数の資料から読み取れる地理的事象を関連付け、地域的特色を説明する力を見る問題

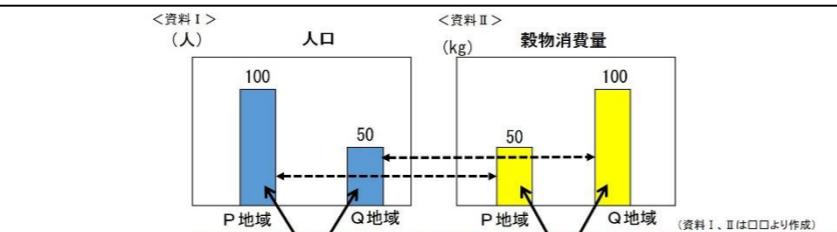
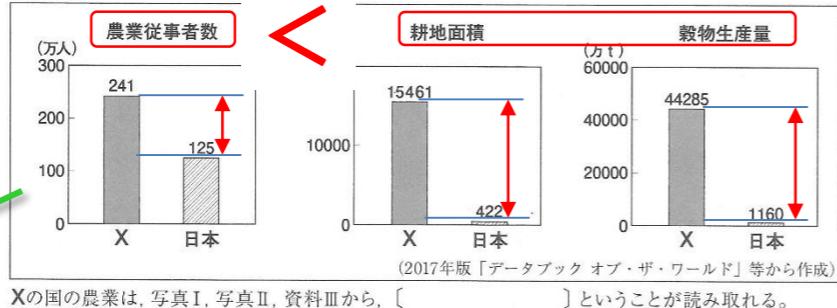
問5 下の□内は、里子さんが、略地図Fの●で示されたX国の農業について調べ、まとめたものである。〔 〕にあてはまる内容を、「農業従事者一人あたり」の語句を使って書け。

「一人あたり」とは、何をどのように求めればよいのだろうか？



グレートプレーンズの小麦地帯などでは、大型の機械を利用した農作業がみられる。長さ数百メートルものスプリンクラーによるかんがいが行われ、円形の広大な農地がみられる。

<資料Ⅲ> 農業従事者数の比率に比べ、耕地面積や穀物生産量の比率が大きい。



項目ごとに地域を比較する
 P地域の人口は、Q地域の2倍
 P地域の穀物生産量は、Q地域の2分の1
 項目間の地域を関連付ける
 P地域は、一人あたりの穀物消費量が0.5 kg
 Q地域は、一人あたりの穀物消費量が2 kg
 項目と地域の内容を総合する
 P地域は人口に対する穀物消費量が少なく、Q地域は人口に対する穀物消費量が多い地域

Point: 統計資料から、地域的特色を見出すには！
 上の図のように、地域間で比較したり、項目間で関連付けたり、あるいはそれらを総合して分析することが大切です。その際、「一人あたり」や「1km²あたり」など基準を合わせることでより確かな特色がわかります。

4 の問題の解き方

問題文や会話文から、都市部への昼間人口の流入の理由を、主題図を比較して説明しなければならないことをつかみます。

東京都の昼夜間人口比率が100%以上であることから、①には、昼間人口が多いことを答えればよいとわかります。

「大都市圏」では、交通網の発達による人や物の移動が盛んで、中心部では、昼間人口が夜間人口に比べ多くなる傾向が見られます。

主題図bから東京都への流入人口の上位3県は全て近隣であり、主題図cから同3県は県外に働きに出たり、通学したりしている人の割合が高いことがわかります。このことから、②には「通勤・通学のために流入する人口が多い」ことを答えればよいとわかります。

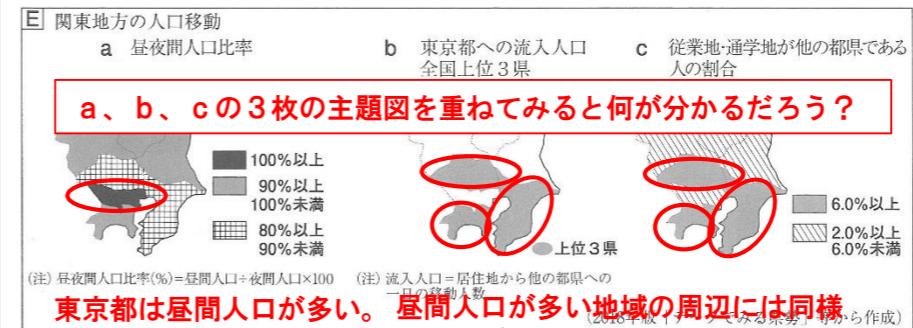
会話文中に「共通した特色」とあることから、同様の傾向や規則性を見出す必要があるとわかります。

近畿地方の主題図dから昼間人口が多いのは、大阪府、京都府とわかります。

この2府のうち主題図eからは、大阪府の着色がないこと、主題図fからは、大阪府の従業地・通学地が他の府県である割合が低いことから、③は、大阪府とわかります。

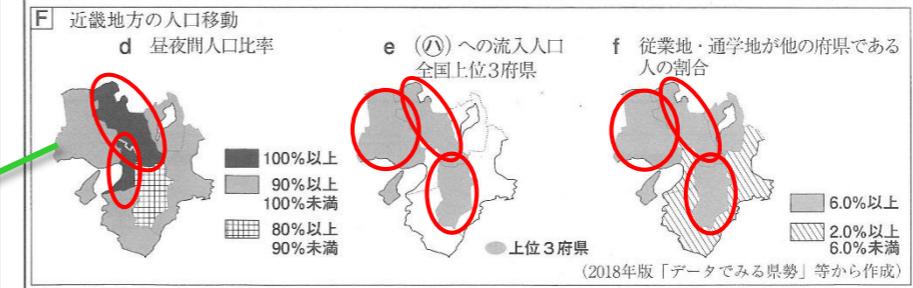
4 資料から読み取った地理的事象を他の地域にあてはめ類推する力を見る問題

問5 下の□内は、和子さんと将太さんが、主題図Eについて会話した内容の一部である。〔①〕、〔②〕それぞれにあてはまる内容と、〔③〕にあてはまる府県名を書け。ただし、同じ記号には同じ内容や府県名が入る。

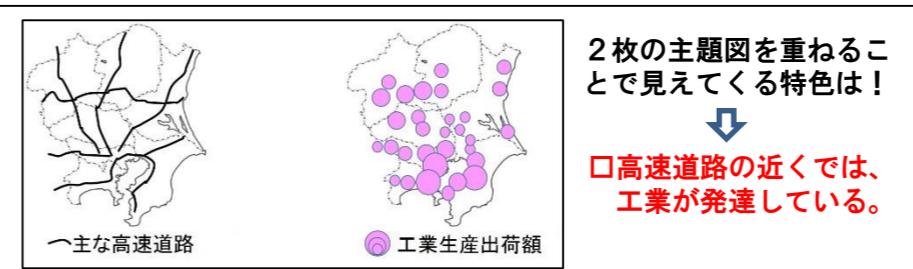


和子さん: 主題図Eは、関東地方の特色の一つをあらわしているね。aから、東京都は、夜間人口に比べて〔①〕ということがわかるね。その理由の一つは、bとcを関連づけると〔②〕からだと考えられるね。これは、東京都だけにみられる特色なのかな。

将太さん: 下の主題図Fの近畿地方でも、関東地方と共通した特色がみられるよ。dから、夜間人口に比べて〔①〕府県のうち、eとfから〔②〕のは〔③〕だということがわかるね。



大阪府だけでなく、京都府も昼間人口が多いだけ・・・
 関東地方と同様の傾向が見られるのは、京都府ではなく、大阪府の周辺地域だとわかる。



Point: 地図をもとに地域的特色を見出すには！
 上のように情報を地図化することで情報の分布が見えやすくなります。また、地図上の情報を重ねてみることで規則性が見えやすくなります。地図を見るときは「～な場所で、～だ。」などの傾向を見つけることを大切にしましょう。

2枚の主題図を重ねることで見えてくる特色は！
 □高速道路の近くでは、工業が発達している。

5 の問題の解き方

問題文からカードに示された国際連合の機関である(X)を明らかにし、その機関によって図Ⅲのように決議案が否決された理由を説明しなければならないことをつかみます。

問題文から「紛争の解決をめざす」採決であること、その採決の際に「中国、ロシア」の二カ国の反対で決議案が否決されていることがわかります。

紛争解決のための機関に「安全保障理事会」があり、常任理事国(アメリカ、イギリス、フランス、中国、ロシア)には拒否権が認められています。常任理事国が一カ国でも拒否権を行使した場合、決議案は可決されません。

以上のことから(X)には、安全保障理事会を答えればよいとわかります。

問題文中の「しくみ」という言葉がキーワードです。「しくみ」を問われているということは「〇〇が～なる(する)ことで、□□が～なる(する)」といった構造を示す必要があります。

このことから、「常任理事国である中国とロシアが拒否権を使ったことで、決議案が否決となった」という構造であることがわかります。

未来への架け橋

福岡県立高校入試問題を活用した授業改善・学習資料〔社会〕③

本資料の活用の仕方

各問題について、次のA B C のいずれかの内容を解説しています。

- A 基本的な知識
- B 資料等の読み取り方
- C 基本的な考え方

5

資料を基に、既得の知識を使って社会的事象の要因を説明する力をみる問題

6班 国際連合職員

国際連合の機関である(X)や各専門機関などで、世界の平和と発展のために、国際会議の開催や運営などの仕事を行う。

※写真
(国際連合旗)

〈図Ⅲ〉 シリアに関する決議案の採決結果

賛成	アメリカ、イギリス、フランス、韓国、ルワンダ、アルゼンチン、オーストラリア、ルクセンブルク、ヨルダン、ナイジェリア、チャド、チリ、リトアニア
反対	中国、ロシア

決議案は否決

多くの国が賛成しているにもかかわらず、どうして決議案は否決されたのだろうか？

問6 図Ⅲは、カード(X)における、紛争の解決をめざす重要な議題に対する採決結果を示したものである。(X)にあてはまる語句を書け。また、図Ⅲのような結果になった理由を、決議のしくみを踏まえて書け。

	国際連盟 (1920年)	国際連合 (1945年)
本部	ジュネーブ	ニューヨーク
目的	世界平和と国際協調	世界平和と安全の維持
加盟国	アメリカの不参加、ソ連の加盟遅延、日本、ドイツ、イタリアの脱退	五大国(アメリカ、イギリス、フランス、中国、ソ連→現:ロシア=現:常任理事国)が始めから加盟
採決	全会一致	多数決 安全保障理事会における五大国一致・・・拒否権を一カ国でも行使すれば可決されない。

Point: 国際機関の成り立ちを理解するには!

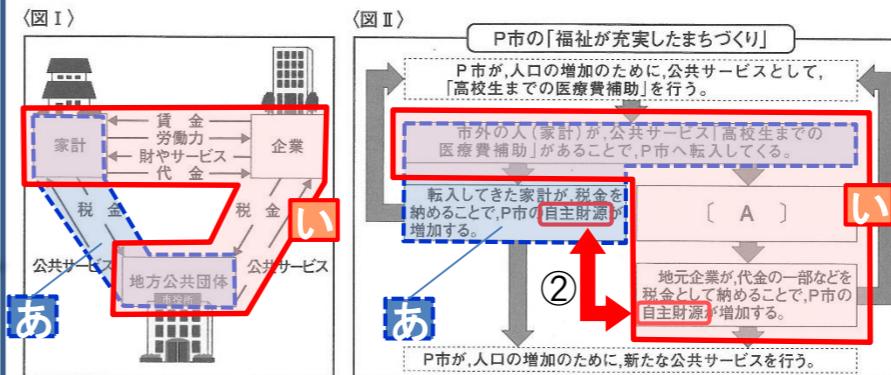
国際連盟や国際連合の成り立ちには、戦争などの歴史的なできごとや戦争の影響による当時の国際情勢などが関係します。そのため、上の表のように二つの機関を対照的に比較できるようにし、目的や加盟国、採決の方法等に違いがあることがわかるようにまとめておくことで、様々な説明に応用することができます。

6

社会的事象についての概念を使って、社会問題の解決策を構想する力をみる問題

会話文からP市も財源に課題があることがわかります。

哲也: なるほどね。今後は社会保障を充実させるために、財源を確保することが必要になるね。
友子: そうね。私たちの住むP市でも、同じような課題があるよね。その課題を解決する方法について考えてみようよ。①



図Ⅱから、財源の確保がねらいであることがわかります。

どうすれば、P市の財源である税収を増やすことができるのだろうか？

問2 会話文の下線部について、図Ⅰは、家計と企業と地方公共団体の関係を、図Ⅱは、P市の「福祉が充実したまちづくり」に期待されている効果を示している。図Ⅱの〔A〕にあてはまる適切な内容を、図Ⅰに示す語句を使って、「家計が財やサービスを」の書き出しで書け。

Point: 図から経済活動を読み解くには!

図中の矢印→は交換のしくみを示しています。世の中には各主体相互の生活が成立するように様々なしくみがあります。各主体が提供できるもの・コトと、持続するために必要なもの・コトの最適な組合せは何か?を見つけることが大切です。

図Ⅱの「い」から、「P市への転入者(=新たな家計)が増えることで、地元企業からP市への税収が増加する」構想になっていることがわかります。企業からP市への納税額が増えるためには、地元企業の利益が増加する必要があります。図Ⅰの「い」から企業の利益は、家計からの代金とわかります。P市への転入者の増加により、地元企業から転入者への財やサービスの提供も増加します。そこで、指定された語句を使えば、「家計が財やサービスを消費することで、地元企業に支払われる代金が増えるために、P市の税収も増える」という関係が成立するとわかります。

6 の問題の解き方

問題文や会話文から、図Ⅱに示されたP市の「福祉が充実したまちづくり」について、図Ⅰ中の語句を使って空欄Aにあてはまる内容を考え、図Ⅱを完成させることをつかみます。

図Ⅰは経済の三主体間の相互の関係を示しているとわかります。

問題文と図Ⅱから、P市は公共サービスを充実させることによるまちづくりを構想しているとわかります。

P市が図Ⅱに示されたまちづくりを構想する理由は、会話文中の①から財源確保のためだとわかります。

図Ⅱの②から、P市が財源を増やそうとしていることがわかります。

地方公共団体(=P市)の財源を増加させるには、家計や企業からの税収を増加させることが方策の一つだとわかります。

図Ⅱの「あ」から、P市への転入者(=新たな家計)が増えれば税収も増え、自主財源が増加するという構想だとわかります。これは、図Ⅰの「あ」の関係を利用したものだといえます。

この考え方を図Ⅱの「い」にも同様にあてはめて考えます。